

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
5	6	定例	本会議	企画経営部	企画政策課	池田議員	例えば災害発生時においてなど、市職員が熱中症対策に関する知識を有していることは大事だと思う。市民に安全・安心な情報を提供できるように市職員が熱中症対策に関する資格を取得するべきである。	検討する。	熱中症対策アドバイザー制度と熱中症対策アンバサダー制度に関する情報収集を行う必要がある(資格取得費用の多寡、資格の有効期間など)。	未済	包括連携協定締結先である大塚製薬株式会社に連絡し、当該制度に関する情報の提供を受ける予定。庁内でも連携していく。
5	6	定例	本会議	企画経営部	施設マネジメント課	藤岡議員	公共施設の複合化、集約化を目的に再編計画を検討する場合、教育委員会だけ、施設マネジメント部門だけで検討するにはとても無理がある。 教育委員会が保有施設も多く、主体となることはもちろんだが、教育分野以外の様々な分野が絡んでくるため、横断的な組織が必要となり、着実に進めていくためには体制の強化を図る必要がある。	従前、室長級で構成してきた庁内検討会について、今年4月末に副市長をトップとして、理事以下、技監、企画・総務・都市安全・都市整備の各部長で構成する公共施設マネジメント推進会議に改編した。 部局横断的な施設の統廃合などに関する集中的な議論、迅速に意思決定し、学校施設などの跡地の利活用や、公共施設マネジメント全体の更なる推進を図っていく。	答弁に同じ。	済	
5	6	定例	本会議	企画経営部	施設マネジメント課	藤岡議員	公共施設の整備、長寿命化、保全、統廃合といった最適化を実現するため、行政自身が発想を転換し、これからの未来を見据えてのグランドデザインを実効性のあるものとして、新たな学校づくりを核としたまちづくりを着実に進めていただきたい。	答弁なし。	学校施設の統廃合計画と連携した公共施設の具体的な複合化や集約化の計画の検討・立案に向け、公共施設マネジメント推進会議で検討していく。	未済	今後、教育委員会と連携しながら、公共施設マネジメント推進会議で検討していく。
5	6	定例	本会議	企画経営部	財政課	北山議員	ハーフマラソン実施事業補助金について、9月、12月補正での増額も検討すること。	ハーフマラソン大会については市にとって大事な事業であるとは認識している。 補正の有無についての明言はなし。	まずは予算内で実施できるよう取り組むものとする。他は答弁に同じ。	未済	まずは、予算内で実施できるよう取り組んでいただく。最終的にハーフマラソン大会が予算内に収まらなかった場合について予算査定の中で対応を検討していく。
5	6	定例	本会議	市民交流部	医療助成課	北山議員	子育て世代に選ばれるまちづくりを目指すべく乳幼児等医療費助成の拡充に取り組むことが必要であり、特に高校生等の通院に係る拡充については、入院と同基準にて来年度予算に明確に示すべきである。	現在、近隣市と同水準の拡充について、来年1月からの実施を目指しており、さらなる拡充については、本事業の安定的かつ継続的な実施を確保することが必要であるため引き続き検討していく。	答弁に同じ。	未済	高校生等の通院に係る拡充については、まずは本事業の安定的かつ継続的な実施を確保することが必要であるため財源を含め引き続き検討する。

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
5	6	定例	本会議	総務部	総務課	中野議員	市の内部で行っている公用文を分かりやすく表現するための取り組みを、市民にも知ってもらうため、もっとアピールしてはどうか。	いくつかの市で言い換え例を作成している他、国の文化審議会でも公用文作成の考え方を示している。本市においても、今後国や他市の取り組みを参考とし、公用文において分かりやすい表現を取り入れていかなければならないと思う。 言い換えの用語集の作成については、今後検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、「文書事務の手引き」において、公用文を作成する上で、分かりやすい表現などを用いることを記載し、全庁に周知している。 議員の指摘としては、現在職員向けに行っている取り組みを市民に向けてもアピールすればよいのではないかとといったもの。 文書事務の手引きを改訂することは考えていないが、国等の事例を参考に職員等に向けて公用文の分かりやすい表現について周知を行う。 	済	<ul style="list-style-type: none"> 文書事務の手引きは、グループウェアのライブラリにアップし、改訂があった場合は庁内掲示板にて全庁周知を行っている。 新任職員に対しても手引きを使用して研修を行っている。 国等が作成するの手引きや言い換え例について、必要に応じて全庁に対して周知するよう検討する。
5	6	定例	本会議	都市安全部	公園河川課	おだ議員	市土木職員による普通河川の見回りと河川台帳整備による適正管理を要望する。	適正な管理が継続的に行えるよう河川台帳の整備を順次進めるとともに、適切な管理手法の検討を行う。	答弁に同じ。	未済	河川台帳の整備については、河川台帳作成業務委託の発注準備中であり、今年度中に普通河川の一部の台帳を整備する。また、適切な管理手法については、台帳整備を行いつつながら検討を進める。
5	6	定例	本会議	子ども未来部	青少年課	中野議員	地域児童育成会での長期休業中の開始時間について、現在の午前8時30分から、早められないのか。 子育て世代から選ばれるまちづくりのため、他市と同じではなく、午前7時30分から開始するなど考える必要があるのではないか。	開所時間を早めることについては、地域児童育成会の人員確保、民間放課後児童クラブとの調整、開始時間延長に伴う人件費、補助金の予算確保などの課題があり、他市の状況を踏まえ検討していく。 特に人員確保は大きな課題であり、これらの課題解決に向け、鋭意取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> 答弁に同じ。 他市を超える対応については、学校の登校時間が概ね午前8時ごろとなっていることから不要と考える。 	未済	地域児童育成会の人員確保、開始時間延長に伴う人件費の増額などの課題があるが、実施可能な方策について検討する。
5	6	定例	本会議	管理部	職員課	中山議員	個別最適化された豊かな学びの実現のためには、教職員の時間的余裕を作る必要がある。そのために業務改善は必ず必要である。	答弁不要。	児童生徒案件であれば、時間外や休日の対応は当たり前であるといった保護者、市民、教員自身の意識を、丁寧に説明していく中で、本来当たり前ではないという意識醸成を図っていく。	未済	今後の働き方改革検討委員会で議論し、合意形成を図ったうえで、保護者などへの説明方法を検討する。
5	6	定例	本会議	管理部	職員課	大島淡議員	正規職員の増員を行い、教職の魅力を取り戻すための施策を県・国に強く要望してもらいたい。	答弁不要。	兵庫県都市教育長協会などの機会を捉え、県や国に要望を行っていく。	未済	次回の兵庫県都市教育長協会での要望を検討する。

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
5	6	定例	本会議	選挙管理委員会	選挙管理委員会	村松議員	国で積極的に勤務間インターバル制度が、今後義務化される流れになれば地方自治体への影響は避けられない。経費削減の観点、働き方改革の流れにもアンテナを張って翌日開票がトレンドになったときに遅れることがないように情報収集をお願いする。	勤務間インターバルを巡る国の動きをはじめ、他市町の動向を注視しつつ、翌日開票を実施している自治体に状況を尋ねるなど、慎重に研究していきたい。	答弁に同じ。	済	
5	6	定例	本会議	選挙管理委員会	選挙管理委員会	持田議員	啓発活動のひとつひとつが投票に行こうということにつながるかを検討しながら、受け取り手の感じ方もくみ取りながら取り組んで欲しい。 主権者教育は、社会の構成員の一人として地域の課題解決を主体的に担うという認識をもってもらうことにある。選挙は、現在と未来の社会を創るための意思決定のプロセスに参加することであると主権者に理解してもらえるような啓発活動を行って欲しい。	すべての市民を対象に選挙や時事問題に関する内容で市民教養講座を開催したり、児童・生徒などを対象に、明るい選挙啓発ポスター、啓発標語などの募集事業を行うとともに、主権者教育の一環として、高等学校での選挙出前授業や中学校での生徒会選挙支援事業を実施してきた。市民の皆様が自分のこととして選挙や政治に関心を持ってもらえるよう今後も継続的に働きかけていく。	答弁に同じ。	済	
5	6	定例	本会議	社会教育部	スポーツ振興課	大島千議員	スポーツセンターの駐車場、駐輪場について対応すべきである。	利用者や近隣住民から対策を要望されており、駐車台数の確保が課題であると認識している。 利用者、スポーツ指導者、周辺土地の管理者の理解と協力を呼びかけ、駐車場所の確保を検討していく。また、駐輪場についても、敷地面積の中で、利用者理解と協力を呼びかけ、敷地内での確保方策を検討していく。 駐車場、駐輪場ともに、費用、導線についても確保出来るよう検討していく。	答弁に同じ。	未済	新たな駐車場・駐輪場の設置に伴う費用・歩行者及び車両の導線を踏まえた上で検討を行う。
5	6	定例	本会議	社会教育部	スポーツ振興課	北山議員	第19回宝塚ハーフマラソン大会について、補正予算を視野に入れた検討を要望する。	収入面では大会参加者の参加料の増額、協賛金増額のお願いや、広告収入の確保など、支出面では委託事業の精査に努めているが、それらにも限界があるのが実情である。 事業内容を縮小する方法もありますが、参加者の意欲を削ぎ、逆に事業収支を悪化させる懸念もあるので、まずは、歳入確保に力を注いでいく。	答弁に同じ。	未済	ガバメントクラウドファンディングを活用した寄附金事業等、新たな財源の確保を検討する。

令和5年(2023年)

6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
5	6	定例	本会議	上下水道局	総務課	北山議員	経営戦略で未達成項目がある以上、料金改定はいったん立ち止まってでもその取組に努力すべきではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・小林・亀井浄水場跡地利用 サウンディング調査の結果を踏まえ、解体撤去費用の縮減、売却以外の借地による利活用の可能性の検討や民間福祉施設事業運営者を対象とした見学会含めヒアリングを検討している。 ・惣川浄水場の運転管理業務の民間委託 小浜浄水場の1年間の委託効果の検証結果を踏まえ、今後実施に向けて取組を進めていく。 	新型コロナウイルス感染症や物価高騰などにより市民生活や事業活動に大きな影響が出ている現状において料金改定を行うことは慎重に判断すべきことだが、現状の経営を続けることは将来世代に先送りする負担を膨らませることになるだけであり、できるだけ早い時期での改定が必要と考えている。未達成項目については引き続き取組を進めていく。	未済	惣川浄水場の夜間休日運転管理業務の民間委託については本年7月から労使交渉を開始している。また総人件費の抑制については今後の定員管理の考え方の整理を進めており、取りまとめの上、今後、取組を進めていく。小林・亀井浄水場跡地利用のうち、亀井浄水場については、サウンディング調査の結果を踏まえ、長期貸付による活用を検討していく。
5	6	定例	本会議	市立病院	経営統括部	北山議員	中山地区や山本地区から宝塚市立病院へ送迎バスの運行を。	市担当部局とともに、バス便の増便を要望した。引き続き、市と協調して、患者の利便性を確保する方策について検討を進める。当院利用者の居住地域・通院手段などの情報を把握し、市担当部局と連携して、患者の利便性を確保する方策を検討する。	答弁に同じ。	未済	外来患者を対象に左の情報把握のためのアンケート調査を令和5年8月までに実施。